



2021年 9月

ここねっと

佐野市市民活動センター情報紙

第60号

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町 3211-5 TEL/FAX 0283-20-5166 E-mail sanosc@sctv.jp

ホームページ <https://www.kokonet-sano.jp/>

第1回利用者連絡会を開催しました

昨年の利用者連絡会は、新型コロナの感染状況を考慮して中止となりましたが、今回は、Zoomを使ったオンラインシステムを併用し、感染対策に十分留意して7月24日(土)に開催しました。オンライン、来館合せて20名の参加をいただきました。

まず、「令和元年台風第19号被災時のボランティアセンターの運営に関わって」と題して、佐野市社会福祉協議会、熊倉幸太郎田沼支所長を講師としてお迎えし、お話をいただきました。その後、「自分たちにできるボランティアって何だろう!」をテーマに意見交換を行いました。参加者からは多くの貴重な意見をいただき、連絡会が大変有意義なものとなりました。今後も皆さんと災害ボランティア活動の推進に向けて取り組んでいきたいと思っております。

講話内容に関する質疑の主な内容

質問 災害ボランティアセンターのサテライト設置について、地域との繋がりを考えると、エリア単位での設置が必要と思う。その場合、高齢者、独居者など地域住民の情報を把握しているのは、民生委員だけなのか

回答 民生委員は当然把握していると思う。それに加えて、町会、お隣さんも対応できることがある。その繋がりや民生委員との連携が重要である。平時から地域のつながり(ネットワーク)が出来たらと考えている。

質問 民生委員をしている。年に一度は避難要請者を訪問して相談にに応じている。町会にも情報が伝えられている様だが、班長レベルの方が近くの情報をよく把握していることが確認された。班単位で助け合える状況をつくっていくことが大切と思い、訴えているの

だが、いざと言うときに役立つ方向で取り組んで欲しい。

回答 地区ごとに年1回大規模な避難訓練を実施している。ご指摘頂いた、情報を班単位から町会へと伝達していくようなシステムは重要と思う。

質問 台風19号の時に、市内各所で様々なボランティア活動が行われた。それが今、どの程度の割合で進んでいるのか、復興の状況について伺いたい。

回答 災害ボランティアセンターの活動については、受付した全件が終了したと判断し、災害ボランティアセンターは閉所した。それ以外については、平時のボランティアセンターで対応している。佐野市では「復興推進係」において、支援活動を続ける体制である。

「自分たちにできるボランティアって何だろう!」をテーマとした意見交換の内容

意見 台風19号の際には、土砂の搬出に協力したが、高齢者には厳しいと痛感した。今日の講話を聴いて受付等でボランティア活動に協力できればと思った。

意見 団体のメンバーが物的な差し入れをしてくれてありがたかった。普段からの繋がりが必要と思った。感謝したい。近所に体が不自由で自ら避難できない方がいた。避難所までは車で送っていったが、家族では無い自分ができることは限られていた。避難所での対応には優しさが欲しかったと思っている。

意見 今日の会議で地域の状況がよく分かった。今後、この様な経験などを佐野市の多くの方々に伝えていけたらと考えている。

意見 被災時の感想として、電化製品を2階に上げておきたかった。義援金等をもらえたが足りない。出来れば、1個でも守れたらと思っている。参考意見として欲しい。

熊倉幸太郎田沼支所長の講演配布資料をご希望の方は、ここねっと職員までお声がけください。いつでもお渡しできます。



災害ボランティア活動に関するアンケート調査結果について

1. 調査の目的・調査対象

佐野市では、災害時の支援活動において民間の支援主体が十分にその力を発揮できるよう、「佐野市連携支援ネットワーク会議」を立ち上げました。社会福祉協議会、国際交流協会、ここねっと、佐野市が協働し、顔の見える所でネットワークづくりを進めています。

そこでここねっとでは、登録団体・個人を対象に、災害ボランティアとして支援できる内容についてアンケート調査を実施しました。お忙しい中ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。

2. 災害時に支援・提供が可能な登録者

	団体	個人	全体
支援可能件数	28	6	34
回答件数	46	7	53
割合	60.9%	85.7%	64.2%

3. 支援・提供内容別件数

	団体	個人	全体
人材	23	4	27
物品	17	2	19
資金	13	2	15
情報	14	4	18

4. 災害支援についての主な意見

- 関心を持ってもらうためのPRが必要
- 支援内容の情報提供が不足しており、参加に一步踏み込めない
- 情報発信により“出来ること”が見つけやすくなる
- 他の団体との協力関係の構築、市民・企業・行政の繋がりは重要
- 障がい者の避難場所の確保を

以上のような結果でした。利用者連絡会やこのアンケート結果から、災害ボランティア活動の具体的な内容について十分に理解されていないこと、被災者の状況や求められていた支援について情報が不足していることなどが推察されました。

災害ボランティア活動への関心を深め、具体的な活動内容を理解することは重要です。平時から多くの市民が“自分たちに出来る災害ボランティア活動って何だろう”と考え、参加してもらえる社会になればと思います。

あなたにもできる災害ボランティア

災害ボランティアと聞いてすぐに想像する「泥出し」「家屋清掃」の他にも、実はボランティア活動は大変に幅が広く、多彩なものです。仕事で培った専門的なスキルだけでなく、誰もが日常生活の中で取り組んでいる「食事作り」や「SNSでの発信」も、災害時には大切な力になります。

「自分にできること」を、「できる時に」、「できる範囲で」。この思いが、持続可能な災害支援に繋がります。皆さんも、まずは「自分にできること」に気づく所から始めてみませんか。

～災害ボランティア事例～

寄附

金銭の寄附、道具・場の貸出



街頭募金活動 支援金/義援金寄附
車両貸出 工具貸出
車輛等の運搬役
屋外の洗い場の貸出
トイレの提供
駐車場の開放

生活支援

清掃片付け、炊き出し、情報発信・収集

家財道具出し ごみ出し・
分別 泥出し 家屋・周辺清
掃 写真の洗浄
炊き出し場の提供・設営 調
理器具の提供 食材の提供
調理、配膳 告知役
SNS 多言語による発信 困
り事の聞き取り(代筆、筆談)



災害 ボランティア

心のケア

高齢者支援、障がい者支援、
外国人支援、癒しの場、子ども支援



傾聴 話し相手(代筆、筆談、通
訳、翻訳)
ちぎり絵や切り絵 編み物教室
アロマセラピー ハンド/フット
マッサージ カフェ/交流サロン
託児 親子サロン 遊び相手
絵本の読み聞かせ

フロボ/

専門職による講演会相談会
技術系ボランティア

床下洗浄・乾燥
建築士による被災住宅の
補修の相談
弁護士による無料法律相談会
行政書士による「り災証明書」
「被災証明書」の交付申請支援
やさしい日本語訳
音訳、点字翻訳、手話



出典元 ぽ・ぽらマガジン vol.29 とちぎボランティアNPOセンター「ぽ・ぽら」

さのボラねっと

活動 紹介



私たち『さのボラねっと』は令和元年台風19号の災害ボランティア活動を通して出会った仲間が声を掛け合い結成された団体です。メンバーは20代から60代まで職業もさまざまですが、現在も引き続き地域の課題や防災、減災のために力になりたいと活動の幅を広げています。

最近の主な活動として、●被災地域を訪問しての傾聴活動(うるうる訪問活動)●今年6月豪雨での佐野市新合地区の土砂災害ボランティア活動●佐野市社会福祉協議会主催「高校生ボランティアスクール」での災害ボランティアに関する講話や防災講座●防災士メンバーによる災害図上訓練 DIG 講座などの防災講座の開催などを行いました。

なお今後、ここねっとでも防災講座を開催したいと思っています。ゲームやクイズで防災を学んだり、工作で防災グッズを作ってみたり。一緒に楽しく防災、減災しませんか？

第37回 「安蘇の風土と 歴史」講座



安蘇史談会は、佐野市、佐野市文化協会との共催で歴史講座を、7月の土曜日に4回、佐野市中央公民館で開催しました。参加者は約400名でした。今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数は会場の収容人員の半数以下とし、受講者の皆様にはマスクの着用、体温チェックなどのご協力をお願いして開催しました。

第1回が、茂木孝行氏の「石垣から見る唐澤山城」、第2回が、江田郁夫氏の「佐野氏と中世の渡良瀬川上流域」、第3回が、坂原辰男氏の「田中正造と小中との関わり」、第4回が、山本訓志氏の「近世野州石灰の生産と流通」でした。

時代は中世から近現代まで、そして佐野氏や田中正造など佐野市民の皆様の関心が深い内容となりました。

佐野市をはじめ足利市、栃木市や宇都宮市などの皆様にも参加いただきました。皆様、終始熱心に受講されていました。来年以降も開催を予定しております。是非ご参加いただければありがたいです。

安蘇史談会 代表 海老原脩司

夏休み子ども学習講座～ポスター作製講座～

令和3年7月25日（日） 10:00～12:00

小学1年生から中学3年生まで15名が参加し、それぞれが持ち寄った絵やポスターの課題について、佐野短期大学の田村田先生にご指導いただきました。

下絵を描く時の注意点や絵の具を塗る順番など、実践的なアドバイス受け、個性的で素敵な作品が出来上がっていました。



※この他予定されておりました、科学実験・木工工作教室・夏休み福祉ボランティア体験は、臨時休館に伴い中止となりました。お申込みいただいた皆様、大変申し訳ございません。

🍁 これからの予定 🍁

令和3年10月 9日（土）	10:00～16:00	<u>ここねっとオープンデー</u>	
令和3年10月24日（日）	10:00～12:00	<u>パネル作成講座</u>	ここねっと 研修室
令和3年11月 7日（日）		<u>防災運動会（仮）</u>	
令和3年11月13日（土）	10:00～16:00	<u>ここねっとオープンデー</u>	
令和3年11月20日（土）	14:00～16:00	<u>朗読を楽しむ会</u>	15名（予約制）ここねっと 研修室
令和3年12月11日（土）	10:00～16:00	<u>ここねっとオープンデー</u>	
令和3年12月12日（日）	10:00～12:00 / 13:30～15:30	<u>クリスマス親子工作教室</u>	各回15名（予約制）ここねっと 研修室

※9月30日（木）までは休館しております。

※今後の予定は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、中止や延期の場合がございます。詳細が決まり次第、HP・SNS等でお知らせいたします。

<ここねっと> ご来館お待ちしております

【開館時間】 火～土曜：午前9時～午後9時

日曜・祝日：午前9時～午後6時

【休館日】 月曜日・12月29日～1月3日